

平成16年度事業報告書（案）

事業報告書目次

I 概要

II 組織

- II-1 会則・規程等
- II-2 会員・会費
- II-3 役員・顧問・職員
- II-4 会議
- II-5 大学との関係
- II-6 ボランティアスタッフ

III 事業

- III - 1 運営支援事業
- III - 2 財政支援事業
- III - 3 生活支援事業
- III - 4 広報渉外事業
- III - 5 リレーション・サポート事業(天久保店)
- III - 6 CI活動推進事業
- III - 7 パーソナル・サポート事業(追越店)
- III - 8 付随的収益事業

I 概要

年度末時点での平成16年度学群入学者父母等の入会率は65.2%となり大学院平成16年度入学者父母等の入会率は17.4%だった。いずれも目標は達成できなかったが、昨年度を上回った。平成17年度の会費改定に向けて、入会案内などをリニューアルした。

各事業においては職員の退職が相次いだため、収入・支出のいずれも予算を大幅に下回った。収入において、会費収入で約720万円減、売上収入で約1540万円減となった。支出では、職員の退職に伴い給与手当が約330万円減となる一方、退職した職員を一時的に補充するためにアルバイトを大量に雇用したため臨時雇用賃金が約283万円増となった。また、助成金が約150万円、貸付金が約270万円、商品仕入が約900万円減少した。一般会計では、約111万円の黒字となったが、正味財産増減計算書では約174万円の減少し、損益計算上は赤字だった。

II 組織

II-1 会則・規程等

第53回(2004.6.19) 会費規程を改正。

第54回(2005.2.19) 紫峰会会則、援助金規程、貸付金規程を改正(新しい会則・規程は事業案内に掲載)。

II-2 会員および会費

会員種別	会員数	継続数	新規入会数	退会数	会費入金額(単位:円)
正会員 1	7447	5606	1841	1337	48,074,080
正会員 2	137	80	57	81	236,493
賛助会員(学内)	1	1	0	0	5,000
賛助会員(一般)	80	41	39	47	227,000
賛助会員(団体)	40	20	20	32	862,000
正会員 1 会員(学生父母等)、学年別会員数内訳					
学年	学群	医療短大	大学院修士	大学院博士	合計
1年	1489		179	155	1823
2年	1520		229	128	1877
3年	1466	81		281	1828
4年	1658			54	1712
5年	60			62	122
6年	85				85
合計	6273	81	408	680	7447

II-3 役員・顧問・職員

役員(任期:平成16年4月1日~平成17年3月31日)		
会 長	菱沼 かづ子	学生父母等(教育研究科2/芸サ連)
副会長	田中 正造	筑波学都資金財団常務理事事務局長
常務理事 理 事	斉藤 浩一	同窓生(文サ連初代運営委員長)
	大森 哲郎	同窓生・紫峰会事務主幹
	浅井 義夫	筑波学都資金財団・筑波研修センター所長
	斉藤 寿太郎	学生父母等(体育研究科1/体育会本部)
	山崎 和茂	学生父母等(情報2/体育会本部)
	鈴木 和夫	学生父母等(看護3/医療短大)
	吉野 節	学生父母等(医学5/体育会医学支部)
	小林 千洋	同窓生(体育会初代委員長)
	角海 紀雄	同窓生(芸サ連第3期会長)
	児玉 恵利子	同窓生(医療短大)
監 事	根本 和明	学生父母等(システム情報工学研究科5/文サ連)
	高野 大二郎	筑波学都資金財団・学生宿舎管理事務所所長
顧問		
(役職指定)	林 史典	筑波大学副学長(学生生活担当)
	石塚 茂清	筑波大学学生担当教員室長
	新保 史生	筑波大学学生担当教員室員
	吉田 滋樹	筑波大学学生担当教員室員
	笹井 弘之	筑波大学調整官
	小山田 健児	筑波大学学群・学生部長
	三野 博正	筑波大学学生生活課長
	坂庭 操	筑波大学医療技術短期大学部部长
職員等		
種職員	大森 哲郎	事務主幹、週1日勤務
	北澤 徳之	週5日勤務
種職員	近藤 貢二	週5日勤務(7月末に退職)
	斉藤 徳夫	経理担当、週4日×6時間勤務
パート職員	須藤 豊	広報・庶務・追越店担当、週3日×6時間勤務
	山口 秀峰	UTCollection・UTlife・UTservice担当
	久保田ひすい	天久保店担当、週4日×6時間勤務
	加藤 菜摘	追越店担当、週2日×6時間勤務
	久保 進一	経理・総務・追越店担当(6月末に退職)
	吉岡 由紀	追越店担当、週5日×6時間勤務

アルバイト	谷 真知子 久保 栄比幸 (天久保) (追 越)	天久保店担当、週3日×6時間勤務(5月～7月まで勤務) 総務・広報担当(9月より) 週約12人・時間 週約23人・時間
-------	-----------------------------------	--

II-4 会議

総会			
	会則第14条に基づき、理事会をこれに代えた。 結果報告は紫峰会報紙面において行った。		
理事会			
第53回(2004.6.19)	1. 審議事項 (1)第52回理事会の議事録について (2)平成15年度事業報告書案承認の件 (3)平成15年度収支決算書案承認の件 (4)平成16年度紫峰会役員追加選任の件 (5)会費規程改正案承認の件 2. 報告事項 (1)平成16年度入会状況について (2)筑波大学30周年記念事業募金の継続について (3)図書館情報専門学群生の取り扱いについて (4)個人情報保護法対応について		
第54回(2005.2.19)	1. 審議事項 (1)第53回理事会の議事録について (2)平成16年度課外活動団体援助金系別配分額案承認の件 (3)会則改定案承認の件 (4)紫峰会個人情報保護方針案承認の件 (5)平成17年度事業計画書案承認の件 (6)職員採用案承認の件 (7)平成17年度収支予算書案承認の件 (8)平成17年度紫峰会役員案承認の件 (9)その他 2. 報告事項 (1)平成16年度入会状況について (2)筑波大学開学30周年記念事業募金の状況について		
三系財務会議			
構成員		平成16年4月～12月	平成17年1月～3月
	文化系サークル連合会財務局長	城賀本 光弘	木村 奈央
	芸術系サークル連合会財務局長	岡田 龍太郎	新橋 良樹
	体育会財務局長	荒益 光大	大谷 剛史
	体育会医学支部財務担当	浅田 玲緒尚	藤田 悠気
	全代会学内行事専門委員会 担当職員	中尾 誉 北澤 徳之	中尾 誉 北澤 徳之
第7回(2004.4.16・20:00～)	[諸行事援助金] ・全代会研修会 ・第30回筑波大学宿舍祭 ・スポーツ・デー ・つくば芸術祭 ・体育会と硬式野球の合同企画の決算報告 [特別援助金] ・天上台風 ・全代会研修会		
第8回(2004.5.7・20:00～)	[諸行事援助金] ・第30回筑波大学宿舍祭 ・スポーツ・デー ・体育会と硬式野球の合同企画 [特別援助金] ・アムネスティ・インターナショナル講演会 ・茶道部和敬清寂社白南風茶会 ・管弦楽団54回定演		

<p>第 9 回 (2004.5.12 ・ 20:00 ~)</p>	<p>[諸行事援助金] ・ 第30回筑波大学宿舍祭 ・ 第19回つくば芸術祭決算報告 [特別援助金] ・ アムネスティ・インターナショナル講演会 ・ 茶道部和敬清寂社白南風茶会 ・ 管弦楽団54回定演 [その他] ・ 紫峰会入会の呼びかけについて</p>
<p>第 10 回 (2004.6.11 ・ 20:00 ~ 24:00)</p>	<p>[諸行事援助金] ・ リーダー研修会 ・ 学園祭予算 ・ 第20回芸術祭決算 [特別援助金] ・ アムネスティ・インターナショナル講演会決算 ・ トライアスロンクラブ創立15周年記念パーティー ・ 邦楽部卒業演奏会決算 [課外活動団体援助金] ・ 携帯電話料経費の計上方法について [その他] ・ 紫峰会入会の呼びかけについて</p>
<p>第 11 回 (2004.7.5 ・ 20:00 ~ 24:00)</p>	<p>[特別援助金] ・ アムネスティ・インターナショナル講演会決算 ・ アイススケート部 日・韓スケートトレーニングキャンプ予算 ・ 第14回世界学生オリエンテーリング選手権大会および第21回世界オリエンテーリング選手権大会予算 ・ アメリカンフットボール部 自主海外遠征予算 ・ トライアスロンクラブ アイアンマン・マレーシア大会決算 ・ 邦楽部卒業演奏会決算 [課外活動団体援助金] ・ 携帯電話料経費の計上方法について ・ 各系の援助対象リスト再確認</p>
<p>第 12 回 (2004.8.27 ・ 18:30 ~ 24:00)</p>	<p>[諸行事援助金] ・ 雙峰祭予算 ・ 春季スポーツ・デーの決算報告 [特別援助金] ・ 全代会研修会決算 ・ 女子バレーボール部特別援助金予算 ・ 陸上競技部特別援助金決算 ・ スキー部特別援助金予算 ・ 蹴球部特別援助金予算 ・ トライアスロンクラブ記念パーティー決算 ・ オリエンテーリング特別援助金決算 ・ 第6回天上台風決算 ・ 吹奏楽団春の演奏旅行決算 ・ 第7回天上台風予算 ・ 混声合唱団東京公演予算 [課外活動団体援助金] ・ 携帯電話料経費の計上方法について</p>
<p>拡大三系財務会議</p>	<p>・ 平成 1 5 年度紫峰会事業報告 ・ 平成 1 5 年度紫峰会収支決算報告 ・ 意見交換等</p>
<p>第13回(2004.9.17・20 : 00 ~)</p>	<p>[課外行事援助金] ・ 秋季 S D (予算) [特別援助金] ・ オリエンテーリング愛好会・世界学生(決算) ・ 陸上競技部・101周年記念行事(決算) ・ 第 7 回天上大風 (予算) ・ 管弦楽団・創団 3 0 周年記念演奏会 (決算) [課外活動団体援助金]</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話料経費の計上方法について ・会計マニュアル
第14回 (2004.10.1・22:00~26:00)	<ul style="list-style-type: none"> [諸行事援助金] ・秋季スポーツ・デー予算 ・アメリカンフットボール部応援バスツアー予算 ・リーダー研修会予算 ・雙峰祭予算 [特別援助金] ・茶道部和敬清寂社決算 ・ライフセービング部決算 ・陸上ホッケー部決算 ・トライアスロンクラブ決算 ・キャンパスガード決算 [課外活動団体援助金] ・携帯電話料経費の計上方法について ・会計マニュアル改訂
第15回 (2004.10.22・18:30~23:30)	<ul style="list-style-type: none"> [諸行事援助金] ・第7回天上大風決算 ・宿舍祭決算 ・春季バスツアー決算 ・秋季バスツアー予算 ・リーダー研修会予算 [特別援助金] ・茶道部和敬清寂社決算 ・アムネスティ講演会予算 [課外活動団体援助金] ・携帯電話料経費の計上方法について ・会計マニュアル
第16回 (2004.11.12・20:00~24:00)	<ul style="list-style-type: none"> [諸行事援助金] ・リーダー研修会予算 ・学園祭決算 ・宿舍祭決算 [特別援助金] ・アメリカンフットボール部・海外遠征決算 ・オリエンテーリング愛好会・(小泉)海外遠征決算 ・男子ハンドボール部・海外遠征決算 [課外活動団体援助金] ・携帯電話料経費の計上方法について ・会計マニュアル ・援助対象経費基準
第17回 (2004.11.26・19:30~23:00)	<ul style="list-style-type: none"> [特別援助金] ・筑波大学学生ボランティアセンターピアラ 「FIGHT!NIIIGATA!!つくば発新潟中越地震チャリティーコンサート」予算20:30~ ・茶道部和敬静寂社「白南風茶会」決算 ・アイススケート部「日韓トレーニングキャンプ」決算 ・スキー部「北海道スキー連盟 北米大会遠征」予算 [課外活動団体援助金] ・携帯電話料経費の計上方法について ・会計マニュアル
第18回 (2004.12.10・21:00~24:30)	<ul style="list-style-type: none"> [課外教育行事援助金] ・第30回筑波大学学園祭「雙峰祭」決算 ・平成16年度応援バスツアー 決算 [特別援助金] ・筑波大学学生ボランティアセンター ピアラ 「FIGHT!NIIIGATA!!つくば発新潟中越地震チャリティーコンサート」決算 ・学生団体DICT「エコロジスト松本英輝講演会」予算 [課外活動団体援助金] ・携帯電話料経費の計上方法について ・平成16年度紫峰会課外活動団体援助金配分案の作成基準について ・会計マニュアル

	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成17年度紫峰会助成金予算について
第19回(2004.12.25・14:00~19:00)	<p>[課外教育行事援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度課外活動団体リーダー研修会決算 平成16年度応援バスツアー決算 第30回筑波大学学園祭「雙峰祭」決算 第28回スポーツ・デー決算 <p>[特別援助金]</p> <p>[課外活動団体援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話料経費の計上方法について 平成16年度紫峰会課外活動団体援助金系別配分額案 会計マニュアル
第20回(2005.1.16・20:00~23:00)	<p>[課外活動団体援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度紫峰会課外活動団体援助金系別配分額案作成
第1回(2005.1.21・21:30~)	<p>[課外教育行事援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度課外活動リーダー研修会 平成16年度応援バスツアー決算 <p>[特別援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> ときめき太鼓塾必殺公演『響』予算 第18回フォルクローレ愛好会合同コンサート予算
第2回(2005.2.18・20:00~24:00)	<p>[課外教育行事援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度安全対策推進委員会活動報告 <p>[特別援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓球部・サフィールオープン国際大会予算 アメリカンフットボール部・第9回NFL GLOBAL JR.CHAMPIONSHIP UNDER19予算決算 アカペラサークルDoo-Wop・10周年記念ライブ予算 学生団体DICT・講演会「この星のエコロジストたちの詩」決算 吹奏楽団・2005年新潟演奏旅行予算
第3回(2005.3.9・20:00~27:00)	<p>[課外教育行事援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第21回つくば芸術祭予算 第31回第30回筑波大学宿舍祭予算 伝統文化系サークル連合・第8回天上大風予算 全代会広報リーフレットの配布予算 2005年度全代会研修会予算 <p>[特別援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技部・春季デンバー合宿予算 体操競技部・第1回日米学生対抗体操競技会予算 吹奏楽団・2005年新潟演奏旅行予算 邦楽部・平成16年度卒業演奏会予算 フォルクローレ愛好会・第18回合同コンサート決算 <p>[課外教育行事援助金]</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支計算書の査定基準について

11-5 大学との関係

顧問連絡会	
構成員	顧問（副学長（学生生活担当）） 林 史典 顧問（学生担当教員室長） 石塚 茂清 顧問（学生担当教員室員） 新保 史生 顧問（学生担当教員室員） 吉田 滋樹 顧問（調整官） 笹井 弘之 顧問（学群・学生部長） 小山田 健児 顧問（医療技術短期大学部長） 坂庭 操 顧問（学生生活課長） 三野 博正 会長 菱沼 かづ子 副会長 田中 正造 常務理事 大森 哲郎 理事 浅井 義夫 職員 近藤 貢二 職員 北澤 徳之
第16回(2004.6.3)	4．審議事項 (1) 第15回紫峰会顧問連絡会議事録について (2)平成15年度事業報告書（案）について (3)平成15年度収支決算書（案）について (4)会費額改定について (5)平成16年度紫峰会役員について (6)図書館情報専門学群生の取り扱いについて (7)個人情報保護法対応について (8)第53回紫峰会理事会について 2．報告事項 (1)平成16年度入会状況について (2)筑波大学30周年記念事業募金の継続について
第17回(2005.2.8)	(1)第15回紫峰会顧問連絡会議事録について (2)平成16年度課外活動団体援助金系別配分額案について (3)平成17年度事業計画書案について (4)平成17年度収支予算書案について (5)平成17年度紫峰会役員案について (6)会則改定について (7)職員の採用について (8)紫峰会個人情報保護方針（案）について (9)第54回紫峰会理事会について 2．報告事項 (1)平成16年度入会状況について (2)筑波大学30周年記念事業募金について
顧問意見確認事項	
各種援助金の支給	援助金申請書にて、顧問を代表し学生担当教員室の意見(確認印)
各種貸付金の貸付け	貸付金申請書にて、顧問を代表し学生担当教員室の意見(確認印)
大学機関主催行事等への役員等の参加	
スポーツ・デー 宿舍祭 学園祭・雙峰祭 リーダー研修会	開会式、援助金目録贈呈（理事：吉野節） オープニング参加・目録贈呈（副会長：斉藤浩一） 後夜祭ステージ、援助金目録贈呈（理事：角海紀雄） 研修参加、援助金目録贈呈（担当職員）
学生広報会議	
構成員	平成16年4月～12月 文化系サークル連合会 局長：田中千紗 局員：村田直史 芸術系サークル連合会 局長：滝沢藍子 局員：黒澤友子 体育会 局長：山崎雅和 体育会医学支部 局長：足立拓哉 担当職員 北澤 徳之・須藤 豊・久保栄比幸（平成16年9月より） 平成17年1月～3月 上田 浩正 櫻井 亮太 黒澤 友子 坂井 俊亮 橋 純一

(毎週1回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・「紫峰会報」の編集・取材等打ち合わせ ・研修(カメラ操作方法・撮影・編集・印刷工程見学など) ・紫峰会報発送作業段取り ・「紫峰会ホームページ」への情報提供 ・各系広報誌収集・情報交換 など
----------	--

II-6 ボランティアスタッフ

課外活動資料室世話人会	
構成員	寺尾 周祐(地域研究研究科1年) 古畑 俊一郎(文サ連副委員長・工学システム学類4年) 佐野 晶子(全代会・前体育会副委員長・体育専門学群4年) 加藤 七奈(人間学類4年) 濱田 美緒(元全代会・人文学類3年) 川本 翠(前芸サ連運営委員・比較文化学類3年) 滝沢 藍子(芸サ連運営委員・人間学類3年) 北澤 徳之(元体育会執行委員長・担当職員) 久保 栄比幸(元厚生会学生会委員会委員長・担当職員)(10月より)
(毎週1回程度)	課外活動資料・情報の収集・整理 課外活動白書の編集
UTコレクション企画室	
構成員	五十嵐治也(室長・元筑波大学副学長) 三田村峻右(元芸術学系教授) 穂積 毅重(芸術学系教授) 蓮見 孝(芸術学系教授) 齋藤さだむ(元筑波大学技官・写真家) 山口 秀峰(筑波大学芸術専門学群卒・担当職員) 北澤 徳之(担当職員)
第14回(2003.7.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・UTcollection販売状況報告 ・UTservice受注状況報告 ・2003年度学年暦カレンダー作成に関する報告 ・筑波大学開学30周年記念キャンペーンロゴマークに関する検討 ・開学30周年記念品開発に関する報告
第15回(2004.1.21)	<ul style="list-style-type: none"> ・UTcollection販売状況報告 ・UTservice受注状況報告 ・2004年度学年暦カレンダー作成に関する報告 ・ココヨ共同商品開発プロジェクトに関する検討 ・開学30周年記念品販売状況に関する報告
UT Club	
構成員	山本 康介(システム情報工学1年) 中川 直(生物学類3年) 牧口 早希子(芸術専門学群2年) 永山 智美(芸術専門学群2年) 吉川 ひろみ(芸術専門学群2年) 別府 聖(社会工学類2年) 生野 俊典(自然学類2年) 松田 譲(工学システム学類2年) 木村 俊介(工学システム学類1年) 古川 美歌(生物資源学類1年) 佐々木 悠(自然学類1年) 鳥居 千夏(芸術専門学類1年) 山口 秀峰(担当職員)

ミーティング 毎週火 共同作業日 毎週金	<ul style="list-style-type: none"> ・ UTcollection商品開発に関する検討 ・ UTserviceデザイン案の検討 ・ 学園祭企画について ・ 総合カタログの企画及び制作 ・ 通信販売チラシの制作 ・ 新規アイテムの企画及びデザイン ・ 企画室資料準備等
業者選定・見学等	向山窯（笠間焼き窯元 2004.11）
販売促進	入学式販売（2004.4.8） 学園祭ショップ「shopUT」出店（2004.10.11～13） 通信販売チラシ作成（4・7・12・2月） 大学説明会特設販売（2004.7.29～30） 卒業式特設販売（2005.3.25）
Net-Project	
構成員	三浦 賢一（工学基礎学類4年） 周 昕（工学システム学類3年） 馬場 隆（比較文化学類2年） 長谷川 綾子（図書館情報専門学群3年） 沈 志宏（環境科学研究科1年） 森 大地（比較文化学類1年） 近藤 貢二（担当職員・自然学類卒業生） 久保 栄比幸（担当職員・社会学類卒業生・9月より）
ミーティング 週1～2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紫峰会ホームページの作成・更新 ・ インターネットサーバーの保守・管理 ・ メーリングリストの運用 ・ 茗溪会ホームページの更新作業
UTlife編集局	
構成員	小澤 宏行（芸術専門学群4年） 長谷川 英祐（04年芸術専門学群卒業生） 山口 秀峰（担当職員）
ミーティング 毎週月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筑波大生の学生生活と就職活動応援“UTlife”編集、発行 ・ 就職課が行う就職活動支援イベントの広報、活用支援 ・ キャリア・就職活動研究サークルとの連携
卒業アルバム製作プロジェクト（11月で活動休止）	
構成員	近藤 まり子（芸術専門学群4年） 鈴木 沙緒里（芸術専門学群4年） 久富 慶彦（芸術専門学群3年） 近藤 貢二（担当職員）
ミーティング 毎週水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学諸行事の撮影 ・ 記念CD-ROMの制作 ・ 写真撮影、CD-ROM編集の研修

III 事業

III - 1 運営支援事業

課外活動等の関連情報を提供し、学生の団体・組織の運営の安定・充実を促すため、学生の団体・組織を対象とし、会計面接、運営相談、課外活動に関する情報収集を行った。

a 会計面接を含む団体の会計相談の実施

会計面接は、課外活動団体全団体を対象に年一回、紫峰会天久保事務所において、以下の目的で行っている。（団体側参加者：責任者・会計、当会側：担当職員・担当財務局長）

- ・ 団体への援助金が団体の会計に入金されていることを確認する。
- ・ 団体援助金の支給が適切であったのか、支給された援助金の活用状況を確認する。
- ・ 各団体の会計処理が円滑に行われているかを確認し、併せて各団体の活動状況も把握する。

実施時期などは以下の通り。なお、各団体の会計状況・帳簿状況等はおおむね良好であった。

	実施団体数(会計数)	実施時期
体育会本部	56団体(63会計)	7・8月(夏休み中)
体育会医学支部	1団体(20会計)	3月(春休み中)
文サ連	35団体	3月(春休み中)
芸サ連	28団体(32会計)	11月(秋休み)

日常的に会計相談や援助金申請の相談窓口を設置してほしいとの要望から、会計クリニック（毎週月曜日の18時～19時30分・予約制）を実施した。のべ約40団体の利用があった。

b 課外活動資料室による課外活動関連情報の収集・整理・蓄積および閲覧等の対応

課外活動資料室に世話人を置き、資料・情報の収集・整理・蓄積を行った。

2004年度課外活動白書の編集を行った。

三系財務局長・課外活動資料室の協力により、課外活動団体会計マニュアルを作成し、各団体の会計担当者に配布した。

III - 2 財政支援事業

学生の諸活動を推進・育成する団体・組織・機関や学生個人の財政を補助し、課外活動や学生生活の発展・充実を促すことを目的として、各種助成金の給付、一時資金の貸付などを行った。

a 課外活動団体への援助金（一般援助金、遠征援助金）の給付

文サ連、芸サ連、体育会の各所属団体より報告のあった収入支出を団体別系別に集計した一覧を元に系別配分額を決定した（第54回理事会承認）。なお、援助対象経費の抽出および集計表の作成は各系の財務局で実施している。

平成16年度課外活動団体援助金系別配分額に基づき、各団体への配分額を各系責任者会議で決定された。平成16年5月から6月にかけて紫峰会から各団体に給付した（団体配分額については別紙参照）

平成16年度系別配分額	援助対象経費集計期間	一般援助金	遠征援助金	計
文サ連	平成15年10月～16年9月	663,792	559,263	1,223,055
芸サ連	平成15年10月～16年9月	789,733	1,214,538	2,284,267
体育会	平成15年10月～16年9月	4,341,964	8,150,716	12,492,678
合計		5,795,489	9,924,517	16,000,000

b 特別援助金の給付

国際社会・地域社会に広く開かれた大学という開学の理念にのっとり、国際交流・地域交流・社会貢献活動を促進することを目的とし、筑波大学の課外活動団体及び学生団体、またはこれに所属する学生個人の当該団体本来の活動であり、経費負担者（他の援助者を含む）の負担能力を上回るもの、筑波大学の名誉を高めその学生への援助効果の大きいものに対して支給される。支給基準は次の通りとなっている。

海外遠征

海外遠征A = オリンピック・世界選手権クラスの大会に日本代表として出場した場合。

援助率は自己負担金の**25%以下**。

海外遠征B = アジア大会・ユニバシードクラスの大会に日本代表として出場した場合。

援助率は自己負担金の**20%以下**。

海外遠征C = 自主的に海外遠征した場合。

援助率は自己負担金の**5～10%程度**。

後援事業

主に地域交流行事やその他大規模事業のこと。援助率は自己負担金の**5～10%程度**または総経費の**3～8%程度**。ただし、一般援助金の援助率を下回ることはない。

記念行事

団体のn周年記念式典や記念公演などのイベントが対象となる。援助率は総経費の**3～10%程度**。但し、大規模事業を含む場合は後援事業に準ずる。

社会貢献事業

社会福祉活動や地域に根ざしたボランティア活動などのイベントが対象となる。チェックリストをもとに社会貢献事業として取り扱うかどうかや援助率を決定する。援助率は自己負担金の**5～30%程度**。

特別援助金支給状況は別紙の通り

c 課外教育行事への援助金（学園祭援助金、スポーツ・デー援助金、諸行事援助金）の給付

学生の組織等が主催する行事に対して援助金を支給した。

申請は、原則として所属する組織の承認・推薦を得た上で、援助金申請書・予算書・事業計画書・決算書・事業報告書・領収書・その他資料などを学生財務会議に提出し、金額を決定した。また支給したイベントにおいて、役員から学生の代表に目録の贈呈を行った。支給状況は別紙の通り。

d 一時資金の貸付（緊急貸付金、団体貸付金、課外貸付金）

貸付金規程に基づき貸し付けを行った。平成16年度の貸付状況は以下の通り。

	緊急貸付金		課外貸付金		団体貸付金		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
前年度から繰越	16	2,250,200	7	1,070,000	6	1,850,000	29	5,170,200
本年度新規貸付	13	2,880,000	3	480,000	5	950,000	21	4,310,000
本年度返還者 ()内は完了者	22 (17)	3,560,000	8 (7)	1,115,000	9 (6)	1,970,000	39 (30)	6,645,000
年度末貸付残高	12	1,570,200	3	435,000	5	830,000	20	2,835,200

緊急貸付金：在学生（生活資金等） 無利子 1年以内 25万円まで

課外貸付金：課外活動団体で活動する個人 無利子 1年以内 20万円まで

団体貸付金：課外活動団体（会計） 無利子 4年以内 60万円まで

e 組織助成金の給付（三系公用コピー代を含む）

学生組織（文サ連・芸サ連・体育会・全代会）執行部が、公用で紫峰会事務所のコピー・印刷等を天久保・追越の両店舗で行う場合、助成の一環として無償で利用できる。これは、各系主催行事（スポーツ・デー等）の場合にも適用されている。この枠から全代会構成員の名刺制作なども行われた。

f 大学の課外活動の育成指導に関する経費の補助

大学の行う行事等で、学生後援会としてふさわしいものについて、大学の支出要請に応じて補助を行った。

学生部学生生活課（春季スポーツ・デー）

学生部学生生活課（秋季スポーツ・デー）

学生部学生生活課（学生死亡時に香典代を支給）

体育専門学群長表彰の副賞（UTCアイテムより現物支給）

学生担当教員室（フォトコンテスト）

g 海外遠征等の際のUTコレクション・アイテムの支給

課外活動団体が海外遠征等を行う場合、相手先との交換などのための記念品を三系執行部の推薦を経て現物支給している。支給基準は以下の通り。

参加人数	20名以内	20,000円まで
	21名～40名	40,000円まで
	41名以上	60,000円まで

平成16年度中に支給した団体（金額換算）は以下の通り。

柔道部・扇子「桐の葉」他	19,840
アイス・スケート部 スポーツTシャツ他	28,400
アテネオリンピック出場（フェンシング） スポーツTシャツ 他	20,000
バトミントン部 校章キーホルダー	19,200
柔道部 ワールドタイムクロック	19,600
男子陸上ホッケー部 扇子「桐の葉」他	20,000
女子バレーボール部	18,990
男子ハンドボール部	19,960
筑波大学水泳部競泳	59,620
水泳部競泳	59,620
柔道部 ステッカー外	19,600
アテネオリンピック壮行会記念品	120,000
合計	424,830

III - 3 生活支援事業

学生等の相談を受け、必要な情報を提供し、就職活動や学生生活の充実を促し、生活相談、生活関連情報（アルバイト、アパート、就職活動など）の収集・提供を行った。

a 生活情報サービスの実施

紫峰会報別冊を作成し自動車保険や自動車所有・使用に関する情報提供を行った。

b 貸付金面接時生活相談および会員からの電話等による学生生活関連の相談への対応

学生の生活相談の主な内容は以下の通り

- ・緊急貸付金について
- ・出納管理の方法について
- ・年間の資金繰りについて
- ・アルバイト先について
- ・自動車の維持について

会員からの電話・E-Mail等による学生生活関連の主な相談内容は以下の通り。

- ・学生と連絡を取りたい（電話をかけても出ないなど）がどうしたらよいか。
- ・子供に友人ができず引きこもりがちで心配だがどうしたらよいか。
- ・子供が新興宗教系の団体に加入してしまったようで心配だ。

課外活動でお金が掛かりすぎる。

・入学後つくば市内と学内の自転車置き場で自転車を盗まれた。警察に届けても対応してくれない。何とかならないか？

・息子が監禁されて身代金を請求された。「振り込め詐欺」かもしれないが、連絡が取れない何とかならないか。所属サークルから、部活の試合で北海道へ遠征していることが分かった。

III - 4 広報渉外事業

会員など学生に関わりのある人々に情報を提供し、支援の輪の強化・拡大を図るため、会員または入会案内対象者（地域住民、企業等を含む）などへ紫峰会報や入会案内の発送をおこない、父母等会員の入会率の向上、団体賛助（協賛会員）・地域賛助会員・学内賛助会員の拡大を図った。

a 機関紙「紫峰会報」の編集・発行

「紫峰会報」を年間5回（4・7・9・12・2月）、合計約60,000部発行した。発送作業は、三系執行部の呼びかけにより、課外活動団体所属学生のボランティアによって行われた。

b 適切な案内・催促等による入会促進

在学生未入会者への案内

- ・入会案内、事業案内をデータ入稿して印刷業者に発注することによりコストダウンを図った。
- ・紫峰会報の作成にあわせ、未入会父母等へ入会催促を行った（下記の表を参照）。

「ご加入のお願い」送付時期と件数

送付時期	送付数	備考
4月(会報90号)	2374	1年次(学群・大学院)
7月(会報91号)	6573	1年次(学群・大学院) 2年次以上(学群・医短) 4(医学6)年次(学群)
9月(会報92号)	910	1年次(学群)
12月(会報93号)	4060	1年次(学群・大学院) 2年次以上(学群・医短)
2月(会報94号)	858	1年次(学群)

平成17年度入学者に対して、以下のような取り組みを行った。

- ・大学院再編に合わせ、父母等に送付する振込用紙を学群用と大学院用にリニューアルした。
- ・紫峰会報に課外活動団体構成員数一覧を掲載した。
- ・入学手続き書類の中で、手続き時の窓口の設置について明記した。
- ・入学手続き時の入会窓口において、窓口対応の人数を増員し、紫峰会のイメージを伝えられるよう写真や説明などを織り交ぜたブースデザインを行った。また、窓口において、平成17年度学年暦カレンダー・クリアーファイルを手渡し、呼びかけを行った。

c 学内情報の問い合わせ先案内・照会

学生父母等から、電話・E-MAILによる問い合わせに対し、学内の問合せ先窓口の照会・案内等を行った。

- ・授業料の納付締切日や納付方法について聞きたい、窓口を教えてください。
- ・奨学金の問い合わせ窓口を教えてください。
- ・大学、宿舍の住所を知りたい。
- ・卒業式の時間や駐車場について教えてください。

III - 5 リレーション・サポート事業（天久保店）

学生やOB等の集团的・組織的活動における関係作りの利便性を高め、その活動の発展・充実を促すため、学生の団体・組織、OB 団体などを主な対象として、天久保店でのプリントサービス、事務機器供用サービス、名簿関連サービスなどを行った。

a 団体向け情報加工サービス（情報・印刷関連機器・作業空間の供用）の実施

印刷サービス

印刷機を設置し、サークル等のビラ作成や冊子作成の印刷サービスを行った。

印刷機利用料は実費程度である。（インク色は黒・青・赤・緑の4色）

製版代 80円/版

プリント代 1.5円/枚

用紙代 A3 = 1.9円/枚 B4 = 1.5円/枚 A4 = 1.2円/枚 B5 = 1円/枚

コピーサービス

8月にカラーコピー機を更新し、サークル等のポスター作成のサービスを行った。（30円/枚）以前利用していたコピー機よりコピー料金が割安だったこともあり、利用枚数が月間ペースで前年比約4倍となった。白黒コピーは一枚10円で提供。

その他

冊子（名簿や部内誌など）の原稿整理や印刷後の紙折、ホチキス留めなどの作業を行う場所を提供した。またFax送信サービス、ラミネートサービス、宛名ラベルや封筒の販売などを行った。

b 団体等のOB会事務サポート（名簿管理・機関紙等配送など）の実施

吹奏楽団OB会の通知発送、名簿作成などの作業代行を行った。

クロナコメール便（1通@100円300gまで）を利用して発送代行を行った。利用団体は以下の通り。

体育会OB・OG会、アイススケート部、体育研究科、サイクリング部、漕艇部、医学専門学群有志
硬式野球部、水泳部茗水会、体育会執行委員会、吹奏楽団

保険の集金代行システムを活用して、自動振り替えによる団体OB会費の徴収代行を行った。あわせて紫峰会の入会案内を送付した。利用団体は以下の通り。

- ・体育会執行委員会OB会（22件）
- ・医学スキー部OB会（36件）
- ・アメリカンフットボール部後援会（45件、実施は平成17年度より）

c 機関紙配送を利用した協賛会員のDMチラシ折込サービスの実施

利用団体4件（紫峰会報90,91,93,94号同封）

d 開学30周年記念事業への協力

新入学生生父母等へ開学30周年記念募金趣意書の発送を行った。

e 入会対象者（未入会の父母等およびOBなど）のデータベースの構築

- ・平成16年度入学者および父母等の台帳を作成し入力を行った。
- ・会報発送時の宛名ラベル出力を行った。

f 天久保店舗の運営

- ・主に前各号のサービスを提供するため、天久保店舗を運営した。
（営業時間は午前10時から午後7時、日曜日・祭日は休業）

III - 6 C I 活動推進事業

大学や学生生活に係る情報やグッズなどの流通・高品質化を図り、大学への帰属満足度や連帯意識を高めるため、以下の事業を行った。

a UTcollection (UTcollection 企画・開発・販売 商品売上)

新規のUTコレクション商品の企画

- ・在校生の利用を主とするアイテムに、各種ギフト需要や各種記念品需要に応えられるアイテムを追加して開発し、筑波大学オリジナルグッズとしての商品の独自性と豊富なラインナップ、そして既存アイテムについては完成度の向上を心がけて開発した。この開発にあたっては、UTコレクション企画室を実施するとともに、物作りに関するネットワークの拡大を図った。
- ・今年度新規に制作を行った商品は以下の通り
マルチクロス、カレンダー2005年度版、1枚付ペーパークリップ、桐飴、履歴書
販売促進
通信販売
- ・紫峰会報にカタログ・郵便振替用紙を同封（8000部×5回、会員価格）
- ・茗溪会の協力により、季刊誌「茗溪」にカタログ・郵便振替用紙を同封（30000部、定価）
店舗販売
- ・追越店舗・天久保店舗・紫峰会WEBサイト（会員価格・定価）、大学公費による受注（定価）
委託販売（卸・定価）
- ・厚生会書籍部（大学会館、学群書籍部）にて店頭販売を行った。入学式、大学説明会、卒業式に大学書籍部店頭にて販売促進活動を行った。
- ・UTCLUBにより学園祭特設販売所を設置し販売を行った。
- ・つくばエキスポセンター売店と委託販売契約を結び、学外におけるUTcollection販売を開始した。
販売実績は別紙の通り

b UTservice (学生やOBの団体などのCIグッズ・媒体等を受託制作)

UTCollectionの制作ノウハウを活かして、クラブ・サークル・学類などからの受託制作を行った。

今年度作成した主なUTserviceは国際総合学類紹介誌、体育会「紫峰」28号、筑波大学応援バスツアーポスター、スポーツデーメダル・ポスター等

c UTlife (就職活動や生活に役立つ情報などを協賛会員等から集め学生等に伝達)

学生との広いコミュニケーションを図るとともに、広告情報の掲載を通して紫峰会賛助会員企業を増やし筑波大生と地域企業との相互理解を促進させることを目的としてUTlifeを発行した。

「UTlife」を3回発行し、3月発行15号を入学手続き紫峰会窓口にて配布した。

就職課が開催するOB・OG懇談会を特集し、この催しのガイドブック機能を果たした。また、この号については各学群の就職資料室に設置した。12月発行14号を筑波大学就職課が主催するOB・OG懇談会会場で来場者に配布した。

OB・OG懇談会サポート企画として、学外に会場を設けて『就職活動座談会』を開催し、OB・OG懇談会を一層に活用できるよう学生と企業とが直接意見交換する場を提供した。

学生生活支援に理解のある企業や大学周辺店舗の存在を筑波大生に紹介し、体育会応援バスツアー支援や各種施術治療紹介を通じた健康保全を呼びかけた。

発行の概況は以下の通り

媒体名	発行日	発行部数	配布状況	広告企業数	広告料
Utlife13号	2004.9.1	4000部	学内8箇所、学外60箇所	8社	373,000円
Utlife14号	2004.12.21	5000部	学内10箇所、学外60箇所	8社	925,000円
Utlife15号	2005.3.11	8000部	学内10箇所、学外60箇所	8社	831,000円
					計 2,129,000円

d UT・Contents (ホームページの受託制作、メーリングリストサービスなど)

インターネット・コンテンツの制作・提供

紫峰会ホームページの制作・更新を行った。学生広報会議からの情報提供・卒アルプロジェクトからの写真提供により、平均月2～3回のペースで更新を行いアクセス件数は年間23,224件であった。

関係団体等のホームページ制作を代行

茗溪会のホームページ制作・サーバー管理代行を行った。

e UT・Album (卒業アルバム等の制作・販売)

平成15年度に申し込みを受けたアルバムの製作・発送を行った。担当職員退職のため、平成16年度のアルバム作成は断念した。ただし、学生や父母の方からアルバムについての問い合わせが続いており、将来的には復活させることができるように、課外活動資料室広報部に撮影業務、フィルム・写真データ管理業務を引き継いだ。

III - 7 パーソナル・サポート事業（追越店）

学生の学習・生活環境の利便性を高め、大学生生活の安心・充実を図るため、追越店での、コピー・出力・製本・FAXなどのサービス、文具・雑貨（UTcollection等）販売、損害保険取次サービス（学生総合補償制度等）などを行った。

a 学生向けのDTP関連サービスの実施

コピーサービス

・(12月まで)モノクロコピー機3台を更新し、コピーサービスを行った。利用料は実費程度である。

B5・A4：6円/枚

B4・A3：8円/枚

・(1月以降)、作業効率向上などのため、プリペイドカードを導入した。少額利用者のため、コイン式のコピーにも可能にした。

プリペイドカード式（用紙共通）

700円/100枚（7円/枚）

2000円/300枚（6.66円/枚）

5000円/800枚（6.25円/枚）

DTP関連機器によるサービス

カラーレーザープリンタ・カラーイメージスキャナーにより、出力サービスを行った。

B4・A3は90円

A4・B5は50円

パソコン3台及びソフトウェアを提供し、端末利用サービスを行った。

その他のサービス

Fax送受信サービス、ラミネートサービス、製本サービスを行った。

作業空間の供用 コピー作業のための作業空間の提供を行った。

関連商品の販売 コピー・DTPサービスに付随する商品の販売を行った。

b 大学公式名刺制作

UTserviceの一環として、筑波大学公式ロゴタイプ名刺の受付・制作を行った。利用件数はのべ464件で売上は¥1,105,880円であった。

大学附属病院企画課からの依頼をうけて、筑波大学附属病院ISO認証マーク入り筑波大学公式ロゴタイプ名刺の製作を行った。

c 追越店舗の運営

・主に前各号のサービスを提供するため、厚生会受託業者として追越店舗を運営した。

（営業時間は午前10時30分から午後8時、土日祭日休業）

・パート職員または11種職員が常駐し、店舗運営に当たった。

・立地条件から、医学専門学群・医療短大・追越在住大学院生の利用が目立った。

・年間利用延べ人数は10,662件、年間売上は5,413,148円であった。

d 学生総合補償制度およびその他の損害保険の取次

・学生総合補償制度加入人数は966名で、保険料総額は22,791,250円であった。

・保険金支払いは93件程度で、クラブ活動中のけがによるものが多かった。（別紙資料参照）

・学園祭・宿舍祭などイベント時の保険の取次ぎを行った。

・学生総合補償制度の引受け代理店の協力を得て学生の自動車保険相談と取次ぎを行った。

III - 8 付随的収益事業

・特になし。